

JPEA「地域共創エネルギー推進委員会」の取り組み



提言

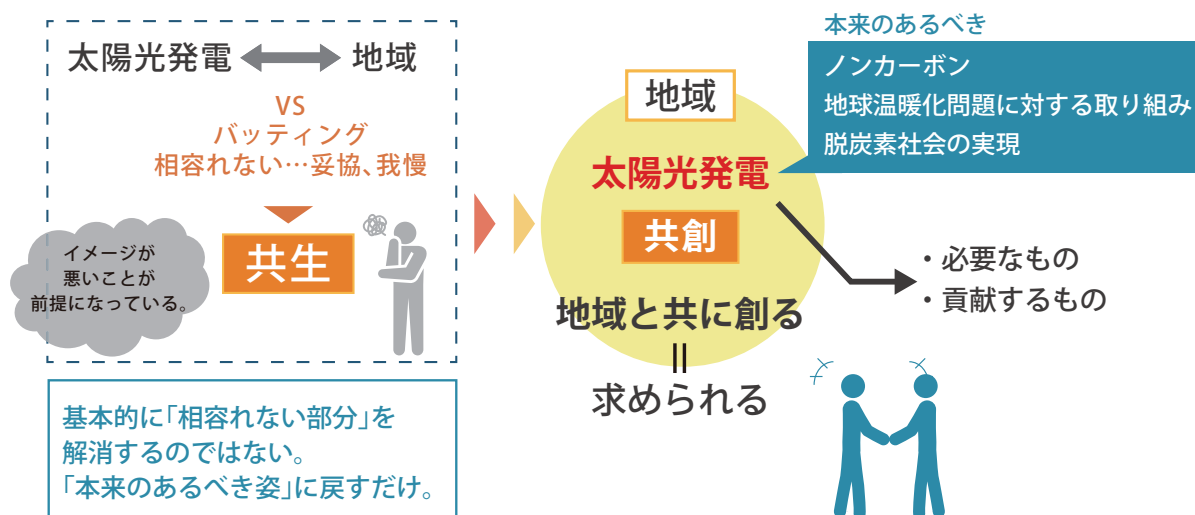
中央省庁

自治体

地域共創エネルギー推進委員会は、一般社団法人太陽光発電協会 (JPEA) に参画する複数の企業で構成されています。

委員会の検討内容は経済産業省に提言し、その内容を基に、新たな枠組みが検討されています。エクソルは、委員長会社として中心的な役割を果たしています。

「草の根型共創エネルギー」としてのあり方・政策等の提言・確立

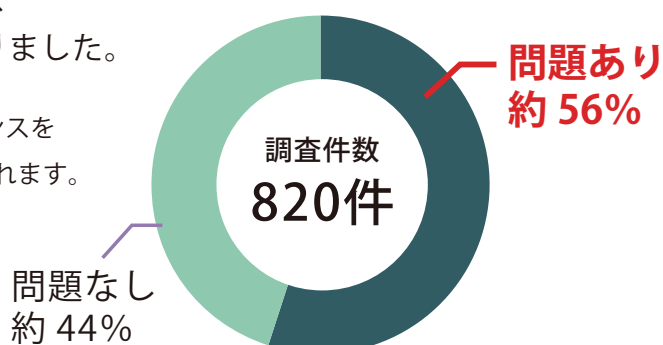


1. 太陽光発電所の安全性とそれに伴う「地域に暮らす人々の安心」の確立
2. 地域において必要不可欠なエネルギー（電源）として、その貢献性の確立

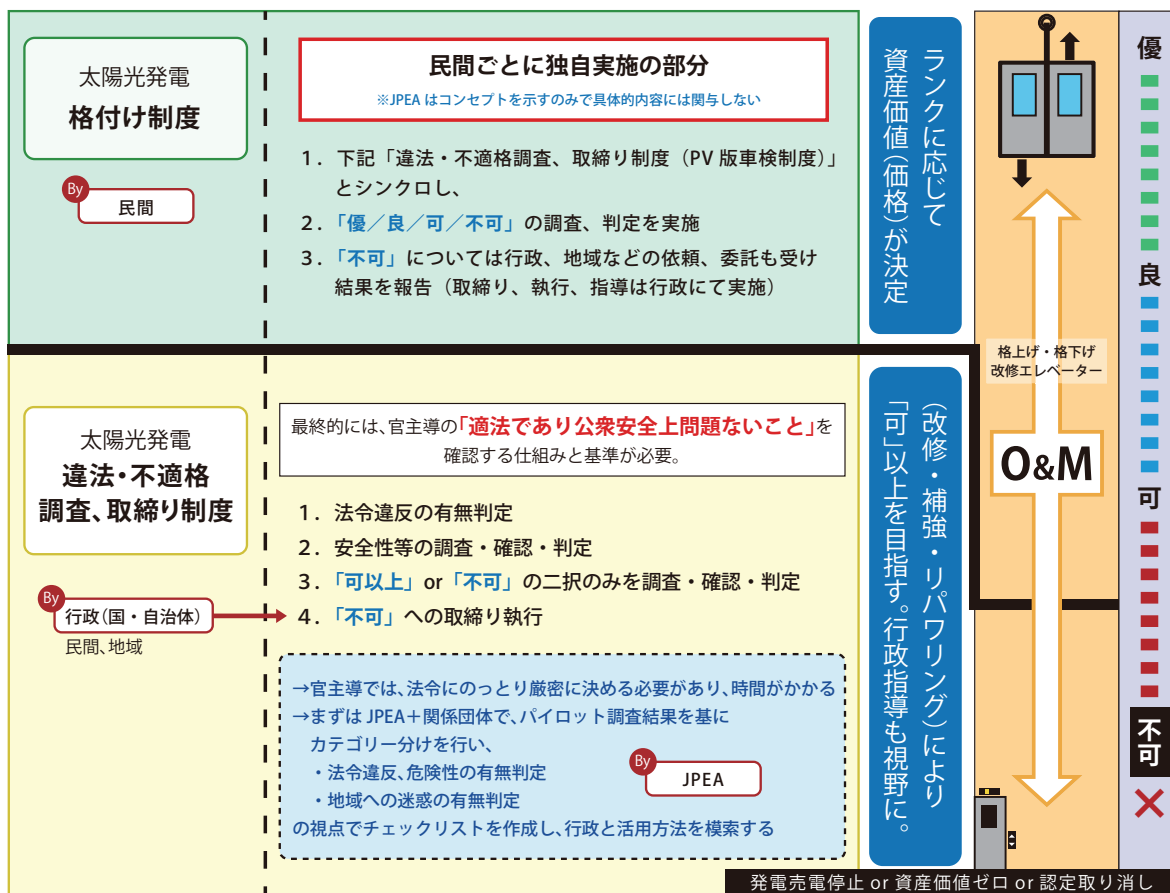
日本全国46市町村で実施した太陽光発電所の抽出調査結果

自治体と協力した現地調査の結果、
約 56% の発電所に問題が見つかりました。

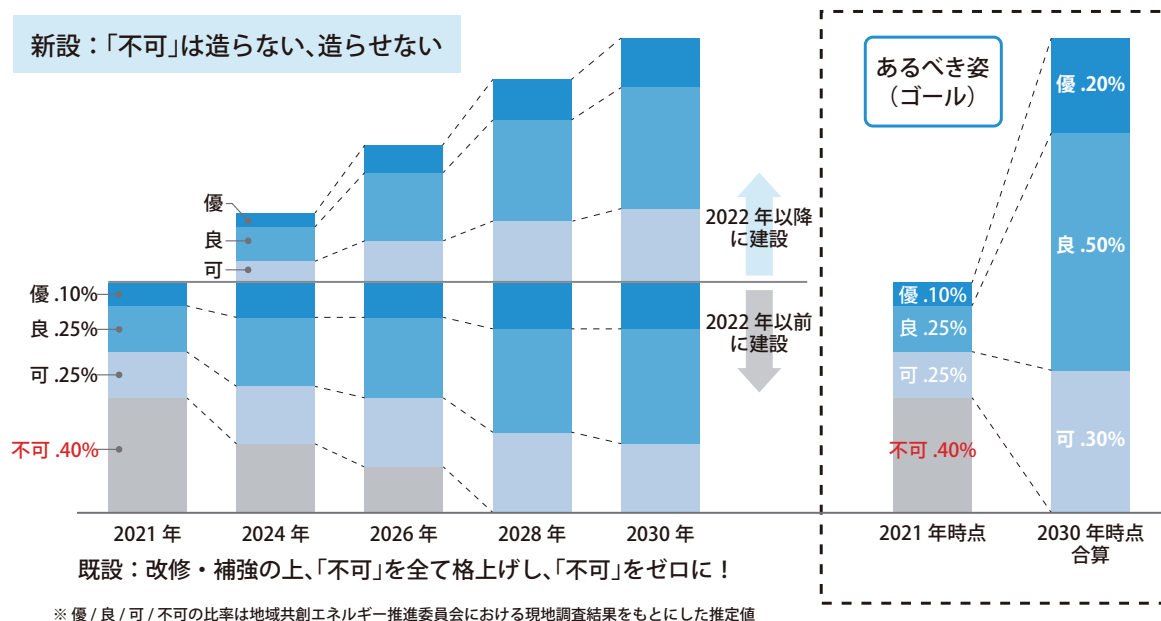
※法令違反の発電所の中には、標識やフェンスを
設置するだけで改善可能な発電所も含まれます。



長期安定稼働/安全・健全な太陽光発電/地域共創のための2階建てシステム※



「格付け制度」、「違法・不適格調査、取締り制度」がもたらす成果イメージ



太陽光発電の「格付け時代」が到来